

# 会議顛末書

						記録者	主事 近藤 響英		
供 覧	市長	副市長	部長	次長	課長	課長補佐	主係	査長	グループ員
	/								
件名	令和6年度第2回行政経営推進会議								
年月日	令和6年10月28日(月)								
時間	午後1時から午後2時30分まで								
場所	庁議室								
欠席者	なし								
内 容	<p>【付議事項】</p> <p>1 補助金等の見直しに係る事業評価について（三次評価） 資料に基づき企画課より説明</p> <p>≪主な意見・質疑等≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児2人同乗用自転車購入費（補助金）について <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 毎年定期的な周知はなされているのか。</li> <li>⇒ 市公式ホームページや、子育てガイドブックに掲載している。</li> <li>→ 潜在的な需要はあると思うことから、保育園の入所説明会等のタイミングにおけるパンフレットの配布等、さらなる周知の強化を検討してはいかがか。</li> <li>→ 利用実績が少ない状況ではあるが、子育て支援を充実させていく中ではメニューとしては残していくべきである。 また、自転車用ヘルメット着用促進補助金をはじめとした、他事業との組合せ等による運用方法の検討も必要であると考えます。</li> </ul> </li> <li>・ 障がい福祉サービス事業費（補助金）について <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 国や県の補助は無いのか。</li> <li>⇒ 県が指定する事業所であるため、基本的には国県の給付費での運営が望ましいが、事業を担っている社会福祉協議会の人件費が基準を上回っていることから、別途市が補助しているものである。 事業所に対する個別の補助金として支出するのか、社会福祉協議会全体への補助金に組み込んだ支出とするのか等、内容の整理が必要となってきている。</li> </ul> </li> </ul>								

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員児童委員地域福祉活動（補助金）について <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 支出先の内部留保金が増えている点については、改善に向けた算定ルール作りが必要であると認識している。</li> <li>その一方で、民生委員の欠員地区が増加しており、なり手が不足している現状を踏まえると継続のうえ人材確保等の取組を行うべきである。</li> </ul> </li>   <li>・ 事業全般について <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 様々な制度を創設するものの、効果検証等がなされていない事が課題である。</li> <li>⇒ 本取組の実施に併せて策定した、「補助金等の見直しガイドライン」に基づき、3年ごとの見直しを実施していく。</li> </ul> </li>   <li>《協議結果》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児2人同乗用自転車購入費（補助金） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 事業の方向性を「廃止」から「継続」に変更</li> </ul> </li> <li>・ 民生委員児童委員地域福祉活動（補助金） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 事業の方向性を「縮小」から「継続」に変更</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		
<b>要措置事項</b>	—		
<b>情報公開</b>	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）
	非公開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	